

第5学年 国語科学習指導案

1. 単元名 筆者の考えの進め方をとらえ、自分の考えを発表しよう

教材名 「生き物は円柱形」 本川達雄 (指導時期: 5月中旬)

2. 単元の目標

- ・ 要旨を捉えて自分の考えを明確にしながら読み、筆者の考えや文章の書き方についての感想を発表し合って、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。
- ・ 例の挙げ方や文末表現の役割について理解することができる。

3. 指導計画 (全9時間)

	時	おもな学習活動 (第二課題は●)	◎指導上の留意点 ☆評価
一次	1	○「筆者の考えの進め方をとらえ、自分の考えを発表しよう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。 ～『見立てる』の読み取り～ ○「見立てる」を通読し、文章構成をつかむ。 ○筆者の考えや考えの進め方を捉える。 ・ 何の例として「あや取り」が取り上げられているのかを考える。	◎「見立てる」の文章全体を三つのまとまりに分ける。 ◎第4段落と第5段落の役割を考えさせる。
	2	・ 筆者の考えの進め方を捉えるために、各段落の役割を考える。 ○「見立てる」の要旨を100字程度でまとめる。 ・ キーワード「見立てる」「想像力」「関わり」	◎ 双括型なので第1、6段落をまとめさせる。 ☆ 筆者が伝えようとしていることをまとめるときに大切だと思う言葉(キーワード)をおさえて要旨をまとめている。
二次	3	～『生き物は円柱形』の読み取り～ ○ 題名から「生き物はどんなところが円柱形なのか」を話し合う。 ○ ①～③段落(「初め」、「中(前半)」)を読み、筆者の考えについて自分の意見をもつ。 ● ①～③段落の要点を考える。 ・ ①段落: 生き物は多様だが、共通性は円柱形だという点だ。 ・ ②段落: 人間の体は円柱形だ。 ・ ③段落: 動物も植物も円柱形だ。	◎ 動物、魚、鳥、昆虫、植物などの写真を掲示することで、教材文に対する想像を広げさせる。 ☆ 共感・納得したところ、疑問に思ったところを書いている。
	4	○ ④段落と⑤段落「中(前半)」の役割(例外を提示した理由)について話し合う。 ● ④、⑤段落の要点を考える。 ・ ④段落: チョウの羽など例外もある。	◎ 反論に対する反論を示すことで説得力をもたせていることに気づかせる。 ☆ 読者の多くが抱く疑問に答えること

		・⑤段落:でも、チョウも木も円柱形の集まりだといえる。	で、説得力を強めていることに気づいている。
	5	○⑥段落から⑩段落「中(後半)」の筆者の考えの進め方について話し合う。 ・身近な実験で読者が確かめられる工夫。 ・例外のものの中にも円柱形が入っていると書いて、説得力を高めている。 ・「円柱形は強い」「円柱形は速い」と短い文で強調している。 ●⑩段落に書かれている文を予想する。 ・ 。だからこそ、 となっているといっているだろう。	◎「円柱形だと、どんないいことがあるのだろう」という問いかけに対して、筆者がどのように考えを述べているのか、順に追っていく。 ☆筆者が「生き物は円柱形」という考えに説得力をもたせようと工夫して説明していることを捉えている。
	6	○⑥～⑩段落の要点を考える。 ・⑥段落:円柱形だと、どんないいことがあるのだろう。 ・⑦段落:新聞紙を円柱形にすると、立つし、しならない。 ・⑧段落:円柱形は強い形なのである。 ・⑨段落:円柱形は速い形でもある。 ・⑩段落:だからこそ、円柱形は生き物の体の基本である。 ●第1段落から第10段落を文章構成図にまとめる。 ・「中」が前半と後半に分かれる。	◎要点の選択肢を提示して、正解を考えさせることにより、「一番伝えたいことを要点にする」「部分的ではなくて、全体的な表現」「具体的ではなくて、抽象的な表現」など、「要点のとらえ方」を確認する。 ☆文章構成図が書けている。
	7 (本時)	○⑪段落「終わり」をよみ、筆者が一番伝えなかったことを話し合う。 ・⑪段落の最後の一文を予想する。 ・⑪段落の要点を確認する。 ●要旨(筆者が一番伝えなかったこと)を150字以内にまとめる。 ・要旨をまとめるときに大切な言葉や文を確認する。「円柱形」「多様」「共通性」など。	◎文章は「双括型」であり、①と⑪段落に多様性と共通性が書かれていることをおさえる。 ◎要旨には、自分の感想や意見は入れない。文末表現に着目しながらまとめさせる。 ☆要旨をまとめられている。
	8	○書いた要旨を読み合い、助言し合う。 ○筆者の考えや、考えの進め方について、自分の考えを書き、発表する。	☆自分の考えを理由とともに書いている。
三 次	9	○選んだ本の筆者の考えをとらえ、自分の考えを書く。 ・グループで、互いのノートを読み合う。	☆筆者の考えや考えの進め方について、自分の考えを書いている。